

Model Course ①

友ヶ島と加太周辺
【葛城第一経塚(友ヶ島)】

紀伊水道に浮かぶ友ヶ島と
港町・加太のそぞろ歩き
葛城修験の地探訪最初の一步

紀淡海峡に浮かぶ無人島、友ヶ島は、東から地ノ島、虎島、沖ノ島、沖ノ島北の神島の4島からなる。葛城二十八宿、第一の経塚、序品は、そのうちの虎島にある。

加太駅から西へ。加太淡嶋神社への石標があるところまで来たら路地に入っていき、その前に少し北にある立派なバクシンがそびえる常行寺に立ち寄りていこう。路地に入って道なりに左に折れると、本殿が国重要文化財の加太春日神社がある。運河に出たらそのまま西へ。汽船乗り場を右に見て進むと、阿字ヶ峰行者堂への階段がある。階段を登りつめると役行者像が祀られた行者堂がある。階段を下り、さらに西へ向かうと、人形供養とひな流しで有名な淡嶋神社だ。

神社を拜したら、友ヶ島へ渡ろう。船着き場の野奈浦棧橋から虎島方面へは東に延びる坂道だが、せっかくなのでいったん西へ向かい、島の最高点のタカノス山と、友ヶ島観光のメインスポットである第3砲台跡へ足を延ばそう。海岸沿いに進み海の家を過ぎるとタカノス山への登り口がある。そのまますすんで友ヶ島燈台へ進んでもよいが、時間に余裕がなくなる。広場になったタカノス山山頂からは、第3砲台跡はすぐ。旧日本軍の史跡だがレンガ造りの廃墟は異世界に紛れ込んだかのような空間になっている。そのまま進み下っていくと、南垂水と北垂水の低い峠があり、すぐ南が広場になっている。南垂水には開放感あふれるキャンプ場があり、広場近くには行場のひとつ、大瀧不動明王がある。

南垂水からは、関伽井跡を往復する。虎島はよほど条件がよくないと渡るのは危険なのでここでは選擇するだけにしよう。関伽井跡に行く途中には行場の深蛇池もある。

散策を終えたら、野奈浦棧橋から船に乗り加太港へ。

歩行距離 ◆ 約10km
歩行時間 ◆ 3時間40分

体力レベル ★★
登山レベル ★★



※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報



加太の風情ある町並み。古い石の道標も残る



常緑樹が緑陰を作る友ヶ島の散策路を歩く



シーズンには観光客やハイカーでにぎわう野奈浦棧橋



開放感たっぷりの南垂水広場。キャンプ場もある



まるで遺跡のような第3砲台跡は旧日本軍の遺構



沖ノ島東端から虎島を見る。条件が揃わないと渡るの危険

アクセス

往復

南海加太線加太駅

アドバイス

友ヶ島汽船は、天候により、欠航することがあるので、事前に確認しよう。冬季は、土・日・祝日のみの運行となる。加太散策と友ヶ島散策はどちらを先にしてもよいが、加太港までの行程で大半をめぐるので、先に済ませておくと効率が良いだろう。虎島への通路は崩壊しているうえ、満潮時には消滅するので危険。